

第 40 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2009 年 11 月 21 日～23 日（金沢大学）
セッション討議内容の記録

セッション名：観光（1）	
日付：11月21日（土）セッション時間：9:30～10:30	
司会者名（所属）：古屋秀樹（東洋大学国際観光学科）	
セッション全体：各論文とも、観光振興のための観光者およびその行動特性分析に主眼をおいた論文である。3論文の対象が異なるため、個別に行った討議を下記に示す。	
討 議 内 容	<p>（発表番号1）発表者名（所属）：尾高慎二（オリエンタルコンサルタンツ）</p> <p>本論文「個票データを用いた国内宿泊観光の施策ターゲット抽出に向けた基礎的分析」は、日本観光協会が長期にわたって実査を行っている国内宿泊観光調査データをもとに、集計値では特徴把握できない特性分析結果が示されている。</p> <p>討議では、20代の発生回数減少理由とレジャー施設・自動車保有との関連性、調査方法の確認、他消費財との代替性、観光白書データとの対応関係（日帰り、国外旅行との相関、旅行取りやめ意向の設問）について質疑が行われた。</p>
	<p>（発表番号2）発表者名（所属）：大矢正樹（環境創造）</p> <p>本論文「びわ湖・近江路観光圏における周遊観光行動の基礎的分析」は、長浜市内や対象地域内の道の駅で取得された観光者アンケートから、居住地、トリップ数、立ち寄り地域について分析されたものである。</p> <p>質疑応答では、観光者サイドからだけでなく、地域サイドからの視点としてどのような地域・周遊形態を創出するかといった地域整備のコンセプト、日帰り・宿泊別の行動特性分析の必要性、観光者だけではないマーケットを念頭とした経営方針の有無について質疑があった。</p>
	<p>（発表番号3）発表者名（所属）：島田貴子（建設技術研究所）</p> <p>本論文「居住地域別訪日中国人旅行者の日本国内における観光行動に関する研究」は、JNTOが実施している外国人来訪者対象のアンケート調査をもとに、東アジアからの来訪者特性を分析するとともに、中国居住者についてはさらに細分化したセグメント設定、詳細特性把握を行ったものである。</p> <p>質疑応答では、来訪回数分布の詳細、来訪回数別の（観光地サイドからの）魅力の創出、情報提供のあり方、観光者実態に加えて地域としてどのように魅力づくり・話題づくりを行うかという課題などについて議論が行われた。</p>